

東芝&GUGEN の新たなチャレンジがスタートする！ 「FlashAir™ハッカソン」、4月に開催決定

The poster features a background image of a cafe with people sitting at tables. In the foreground, there is a wooden table with a green coffee cup on a saucer. On the left, there is a white Toshiba FlashAir W-03 SDHC memory card. The main text reads 'FlashAir ハッカソン' in large white letters, with '2015.4.11(土) | 4.18(土)-4.19(日)' in a blue banner below it. Below the banner, it says 'ハッカソンを出発点とし、アイデアの商品化を支援します!' (Starting from the hackathon, we support the commercialization of ideas!). At the bottom, there is a grid of logos for partner companies: Toshiba (Leading Innovation >>> 技術サポート), GUGEN (企画・電子部品サポート), amazon.co.jp (ネット販売サポート), Microsoft (クラウドサービスサポート), Makuake (クラウドファンディングサポート), FIXSTARS (Speed up your Business FlashAir 技術サポート), BASE (ネット販売サポート), and SWITCHSCIENCE (電子部品サポート).

株式会社ピーバンドットコム(本社:東京都千代田区、代表取締役:田坂 正樹)の社内ベンチャー、ものづくり支援会社「GUGEN」は、2015年4月、新しいプロジェクト「FlashAir(TM)ハッカソン」を始動します。株式会社東芝(所在地:東京都港区、代表執行役社長:田中 久雄)とのコラボレーション・プログラムで、アイデアソン&ハッカソンというものづくりの部分だけではなく、さらにクラウドファンディングリリースへ向けたブラッシュアップ、そして製品リリースまでをサポートします。この一連のプロセスをエコ開発システムとして提示し、アイデアを形にするだけではなく、実際に「世の中に出る商品」とすることを目指すものです。

FlashAir(TM)ハッカソン: <http://gugen.jp/toshibahack>

インターネットに接続していることが前提になっている今、ユーザーが求める新しい価値にハードウェア、ソフトウェア、そしてインターネットが不可欠です。ユーザーのニーズに応えるプロダクトは、ハードウェアだけでは完結しません。無線 LAN 通信機能を搭載した SDHC メモリカード「FlashAir(TM)」は、こうした新しい製品をプロトタイプングするツールとしての活用が注目されています。そして、GUGEN がこれまで取り組んできた、ものづくり支援プログラムは、多様なニーズ、さまざまなアイデアを開発プロセスに取り入れ、具現化することができるプラットフォームです。

日本のリーディングカンパニーの1つである株式会社東芝とIT企業が本格的に協力して提供するフレームワークにより、新しいIoT製品を生み出すというチャレンジ。それぞれの企業がこれまで築いてきた取り組みをもとに、ハードウェアとソフトウェア、インターネットの新たな価値を作り出す試みです。

●プロジェクトの概要

【日時】

・ユーザーミーティング&アイデアソン

2015年4月11日(土) 9:00~18:30

・ハッカソン

2015年4月18日(土) 9:00~20:30

2015年4月19日(日) 9:00~20:30(懇親会有)

※ハッカソン参加者はユーザーズミーティング&アイデアソンの参加が必須です。

※ユーザーズミーティングのみの参加も可能です。

【場所】

東芝スマートコミュニティセンター

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

【参加費】

一般3,000円/学生2,000円

※ワークショップで使用するFlashAir(TM)を参加者全員にご提供致します。

【対象者】

FlashAir(TM)に興味のある方で、下記のスキルを持っている方！

- ・ Engineer(各種機器のハードウェア、ソフトウェア、機械など)
- ・ Designer(プロダクト、ウェブ、紙など)
- ・ Planner(ハードウェアに興味があり、企画・マーケティングなどに関心がある方)

FlashAir(TM)を使った新しい商品アイデアを持っている方なら大歓迎！

●商品化を目指す優秀作品へのサポート

<ユーザーテスト&プロトタイプブラッシュアップ>

- ・毎月ユーザーインタビューを実施し、その結果をもとにプロトタイプをバージョンアップ。
- ・月1回、協力企業とのミーティングを開催。

<クラウドファンディングリリース>

「Makuake」のサポートを受け、クラウドファンディングへのリリース

<ネット通販販売開始>

「Amazon.co.jp」と「BASE」のサポートを受け、ネット通販での販売を開始

●後援企業

・株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング(クラウドファンディング「Makuake」)

※「Makuake」営業担当者がプロジェクトの実現に向けて案件を個別にサポート

※クラウドファンディング実施時には「Ameba」をはじめとしたサイバーエージェントのメディア等での PR 協力

※参加者に向けて、クラウドファンディング成功に向けた特別レクチャー

・株式会社フィックスターズ

※FlashAir(TM)の技術サポート

・日本マイクロソフト株式会社(クラウドサービス「Microsoft Azure」)

※クラウドサービス「Microsoft Azure」の3年間無料利用クーポン

・アマゾンジャパン株式会社(「Amazon.co.jp」マーケティング)

※このイベント経由で Amazon 出品サービスへご登録いただいた場合、特典として月額固定費 4,900 円が1年間無料

※初めて出品用アカウントを作成して販売開始された場合のみ適用

・BASE 株式会社(ネット通販「BASE」)

※10万円分の PR 予算支援

※無料広告運用相談及び露出企画のご提案や媒体への交渉

・株式会社スイッチサイエンス

※電子部品サポート

●GUGEN エコ開発システムとは

GUGEN エコ開発システムとは、「アイデアのプロトタイピング」を出発点とし、課題解決を主眼としたユーザーテストとバージョンアップを重ねながらプロダクトとして具現化し、「クラウドファンディングへのリリース」、「通販サイトへの出品」までを一連のプロセスとして循環させていこうという、ものづくりプログラムです。また、プロジェクトにクラウドファンディング「Makuake」や、ネット通販の「Amazon.co.jp」「BASE」が加わることで、開発プロセスの中にあらかじめマーケティングや「売る」ための視点を取り入れることが可能となっています。

プロセスに必要なそれぞれの機能を専門とする企業同士が連携協力することにより、共創のプログラム「GUGEN エコ開発システム」を提供します。このプログラムに参加することによって、各プロセスにおいて専門のアドバイスを受けながら、開発を進めることができます。また、リーンスタートアップなど最新のオープンイノベーションメソッドを活用し、最低限のコスト、最短の時間で「ホントに売れる商品」を開発できます。

●報道関連のお問い合わせ先

GUGEN 実行委員会

TEL : 03-3261-3431

E-mail : info@gugen.jp